



祝 北川 進先生 ノーベル化学賞



北川 進先生

祝 辞

公益社団法人 日本化学会
会長 丸岡 啓二

このたび、本会名誉会員の北川進先生（京都大学理事・副学長，高等研究院特別教授）が「金属有機構造体の開発」における貢献を称えられ，2025年のノーベル化学賞を受賞されました。おめでとうございます。

北川先生は，金属イオンと有機化合物とを結合させ，ナノメートルの大きさの規則的な孔を無数にもつ多孔性配位高分子を新たに開発されました。1997年には，このような多孔性配位高分子の細孔中に気体を大量に取り込めることを世界で初めて立証されました。これを契機に，各種の多孔性配位高分子による水素や天然ガスの大量吸収を行う研究が世界中に広まりました。多孔性配位高分子は新たな多孔性材料として，気体の貯蔵や分離のみならず，新たな触媒としての利用が期待されており，今後の応用に関して広い可能性を秘めています。北川先生のご業績は，無機・錯体化学のみならず，エネルギー，環境，生命など幅広い問題に対し，化学が解決するために取り組むべき新しい分野や領域の開拓を先導するもので，国際的に高く評価されています。

北川進先生のご業績がこのように高く評価され，今回の受賞の栄誉に輝かれましたことを大変嬉しく思います。今後も日本の科学の発展にさらに貢献していただけることを祈念しております。